



■社名の由来■

会社の基本方針「社会に対する奉仕(SERVICE)と信頼(TRUST)を信条とし、製品については最高(SUPER TOP)を理念とする事」よりとったものであります。



〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731

 この中間事業報告書は、古紙/パルプ配合率100%再生紙を使用



この中間事業報告書は、環境に優しい植物性大豆油インキを使用しております。

第59期

中間
事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



連結

	第56期 (通期)	第57期 (通期)	第58期 (通期)	第59期 (当中間期)
売上高 (百万円)	38,065	45,081	44,109	22,494
経常利益 (百万円)	3,055	2,750	3,260	2,213
当期(中間)純利益 (百万円)	1,431	1,451	1,823	859
純資産 (百万円)	26,048	26,692	27,449	28,240
総資産 (百万円)	34,732	36,268	36,959	38,463
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	46.53	48.87	63.43	29.92

単体

	第56期 (通期)	第57期 (通期)	第58期 (通期)	第59期 (当中間期)
売上高 (百万円)	36,748	43,250	42,396	21,642
経常利益 (百万円)	2,566	2,121	2,586	1,880
当期(中間)純利益 (百万円)	1,156	1,170	1,520	797
純資産 (百万円)	25,420	25,834	26,284	26,983
総資産 (百万円)	33,058	34,267	34,808	36,243
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	37.51	39.31	52.91	27.78



代表執行役社長

鈴木 喬

日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。
株主の皆様へ、当上半期の状況と今後の方向につきましてご報告申し上げます。

◎まず第一に、弊社の創業以来の 카테고리である防虫剤が長い間の低迷を脱し、底打ちから上昇傾向に移りつつあることです。弊社は世界最大の防虫剤メーカーですが、ここ数年「価格破壊」と、「6ヵ月もの」から「1年もの」への移行による市場規模の縮小に悩まされてきました。(理論的には「6ヵ月もの」が「1年もの」に移行すると、従来、年2回お買い上げいただいていたのが年1回になる。)

「1年もの」への移行がほぼ完了したことにより、この面での市場規模の縮小は、ほぼ限界に達しつつあります。「価格破壊」も限度に来つつあります。
◎第二に、エアケア部門の新ブランドとして「エアウォッシュ」(Air Wash)を立ち上げたことです。

この春発売のミストの「エアウォッシュ」は売行きも順調です。その上、グッドデザイン賞を受賞しました。本年8月に発売しました、「置くタイプのエアウォッシュ」も好調です。今後は「空気を洗う」というコンセプトで「エアウォッシュ」ブランドを弊社の柱の1つとして育成していくつもりです。

◎第三は、巨大外資がエアケア市場に参入してきたことです。「競争こそが、進歩を生む」というのが私の信条であります。これをチャンスと捉え、業容の拡大に励むつもりです。

◎第四は、原油値上がりの影響です。弊社の原材料は、石油化学に依存している割合が大きいため対応に苦慮しておりますが、全社の知恵を結集して乗り切るよう努力中です。

◎第五は、約7億円の特別損失を計上したことです。これは、主としてカイロビジネスの「のれん代」を本来10年間で償却するはずでしたが、2年続きの暖冬の影響に加え、予想外の競争激化と価格破壊により、減損会計を適用したことによるものです。

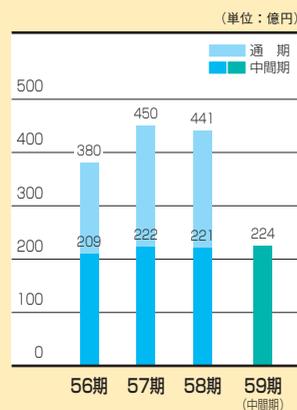
◎配当につきましては、前期まで8円、10円、17円、22円と増配を重ね、今期も年22円を予定しております。株主還元につきましては、引き続き積極的に取り組んでまいります。

◎「世にないことをやる会社」を合言葉に、知恵を出し、汗をかきながら全社員一丸となって乗り切るつもりです。

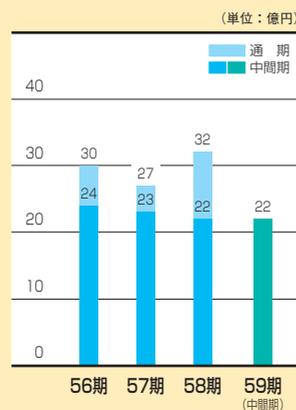
一層のご愛顧ご支援をよろしくお願いいたします。

平成17年12月

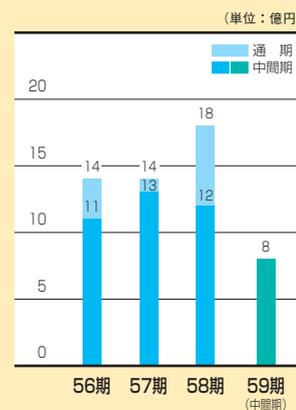
〈連結〉 売上高



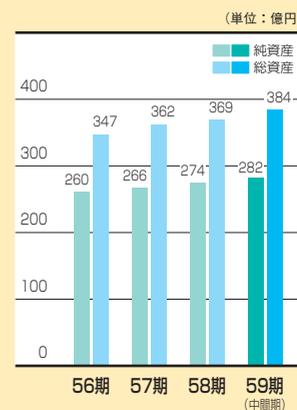
〈連結〉 経常利益



〈連結〉 当期純利益



〈連結〉 純資産・総資産



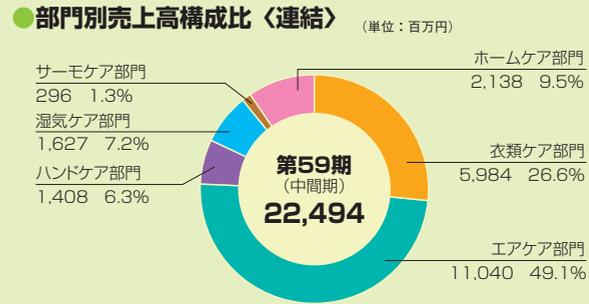
営業の経過および成果

当上半期の連結営業成績につきましては、主力のエアケア（芳香消臭剤）部門が好調に推移したことに加え、衣類ケア（防虫剤）部門では、半年用から1年用へのシフトに伴う市場規模の縮小が一段落しつつあり、この中で着実にシェア及び売上を伸ばし、その他の部門の売上減少をカバーいたしました。

利益面につきましては、製造原価の削減努力により、一部原材料の値上がり等のコストアップ分を吸収いたしました。内製品に比べ粗利率の低い仕入品の構成比率が上昇したことや激化する市場競争に対応するためにエアケアを中心に広告宣伝などのプロモーション費用を集中投下したことで、減益となりました。

これらの結果、売上高は、224億94百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は23億99百万円（前年同期比3.3%減）、経常利益は22億13百万円（前年同期比1.9%減）

となりました。なお、今期より適用が義務付けられた固定資産の減損会計処理により6億99百万円の特別損失を計上したことで中間純利益は8億59百万円（前年同期比32.3%減）となりました。



●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、59億84百万円（前年同期比5.8%増）となりました。当部門につきましては、ここ数年の半年用から1年用へのシフトに伴う市場規模の縮小が一段落しつつある中、着実にシェアを伸ばし増収となりました。



●エアケア（芳香消臭剤）部門〈連結〉

エアケア（芳香消臭剤）部門につきましては特に、新製品「置くタイプのアアウォッシュ」が好調な他、主カブランド「消臭力」が引き続き順調に拡大し、大きく数量を伸ばしました。これらの結果、売上高は110億40百万円（前年同期比4.9%増）と大幅に増加しました。



●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門の売上高は、14億8百万円（前年同期比12.4%減）となりました。昨年7月より立ち上げました消耗家雑分野の共販会社、スリーエム・エステー販売株式会社への出荷価格引下げの影響を受けたことで減収となりました。



●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門につきましては、厳しい価格競争の中、利益の維持に留意した販売方針に徹することで、売上高は、16億27百万円（前年同期比1.9%減）と微減いたしましたが、利益率は向上いたしました。



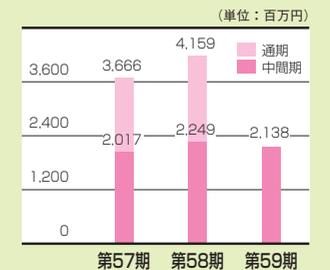
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門の売上高は、春先の寒さの影響でシーズン終了後の返品が当第1四半期にすれ込んだこと等により、2億96百万円（前年同期比28.0%減）にとどまりました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は21億38百万円（前年同期比5.0%減）となりました。当部門につきましては、主力の洗たく槽クリーナー・フロタクリーナーが堅調に推移した他、自動食器洗い機専用洗剤「フィニッシュ」が、市場の拡大とマーケットシェアの上昇で大幅に売上を伸ばしましたが、既存商品の落ち込みをカバーできず、ホームケア全体では減収となりました。



●連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期末 (平成17年9月30日)	前中間期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成17年3月31日)
資産の部			
流動資産	24,303	23,140	22,784
現金及び預金	9,732	9,003	10,455
受取手形及び売掛金	6,563	6,319	4,888
有価証券	3,412	3,336	2,999
たな卸資産	3,927	3,833	3,768
繰延税金資産	434	322	352
その他	259	339	335
貸倒引当金	△ 26	△ 13	△ 17
固定資産	14,159	14,160	14,174
有形固定資産	7,687	8,057	8,017
建物及び構築物	2,670	2,810	2,741
土地	3,263	3,399	3,403
その他	1,754	1,846	1,872
無形固定資産	272	239	224
投資その他の資産	6,199	5,864	5,932
投資有価証券	4,391	3,618	3,717
繰延税金資産	253	164	160
再評価に係る繰延税金資産	67	71	71
その他	1,511	2,072	2,008
貸倒引当金	△ 24	△ 61	△ 24
資産合計	38,463	37,301	36,959
負債の部			
流動負債	8,642	8,454	7,909
支払手形及び買掛金	4,774	4,614	4,417
未払金	2,070	2,069	1,920
その他	1,797	1,770	1,572
固定負債	1,142	1,070	1,079
長期借入金	—	14	—
退職給付引当金	1,056	986	1,001
役員退職慰労引当金	86	69	77
負債合計	9,784	9,525	8,989
少数株主持分			
少数株主持分	437	474	520
資本の部			
資本金	7,065	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067	7,067
利益剰余金	15,371	14,658	14,890
土地再評価差額金	△ 100	△ 107	△ 107
その他有価証券評価差額金	675	481	518
為替換算調整勘定	△ 326	△ 361	△ 358
自己株式	△ 1,512	△ 1,503	△ 1,627
資本合計	28,240	27,301	27,449
負債、少数株主持分及び資本合計	38,463	37,301	36,959

●連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	22,494	22,101	44,109
売上原価	11,683	11,408	24,481
販売費及び一般管理費	8,411	8,212	15,878
営業利益	2,399	2,479	3,748
営業外収益	273	299	561
営業外費用	458	522	1,048
経常利益	2,213	2,256	3,260
特別利益	48	34	14
特別損失	761	37	66
税金等調整前中間(当期)純利益	1,500	2,253	3,208
法人税、住民税及び事業税	965	870	1,282
法人税等調整額	△ 273	79	27
少数株主利益又は損失(△)	△ 51	34	74
中間(当期)純利益	859	1,268	1,823

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	927	930	2,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,343	△ 850	△ 923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 318	△ 671	△ 1,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 723	△ 591	860
現金及び現金同等物期首残高	9,632	8,772	8,772
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	8,909	8,180	9,632

POINT

売上高は主力のエアケアと衣類ケア両部門の好調により増収(前年同期比1.8%増)となりました。
利益面では、コスト削減努力により原材料の値上がり分を吸収しましたが、激化する市場競争に対応するためエアケアを中心に広告宣伝などのプロモーション費用を集中投下したことなどで営業利益が前年同期比3.3%減、経常利益が1.9%減となりました。

POINT

中間純利益は8億59百万円(前年同期比32.3%減)となりましたが、これは今期より適用が義務付けられた固定資産の減損会計処理により6億99百万円の特別損失を計上したことによるものです。

●連結対象会社

連結子会社(国内3社/海外2社)
エステートレーディング株式会社
エステートオート株式会社
エステート・マイコール株式会社
ファミリーグローブ(タイ)
ファミリーグローブ(台湾)

持分法適用会社(国内1社/海外2社)
スリーエム・エステート販売株式会社
シャルダン(マレーシア)
シャルダン(フィリピン)

●単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期末 (平成17年9月30日)	前中間期末 (平成16年9月30日)	前期末 (平成17年3月31日)
資産の部			
流動資産	21,940	21,234	20,655
現金及び預金	8,482	8,157	9,423
受取手形及び売掛金	6,150	5,945	4,469
有価証券	3,405	3,292	2,976
たな卸資産	3,244	3,114	3,111
繰延税金資産	339	278	274
その他	334	452	413
貸倒引当金	△ 16	△ 6	△ 13
固定資産	14,302	14,128	14,152
有形固定資産	7,256	7,462	7,442
建物及び構築物	2,535	2,673	2,608
土地	3,054	3,068	3,068
その他	1,665	1,719	1,765
無形固定資産	266	233	218
投資その他の資産	6,780	6,432	6,491
投資有価証券	4,212	3,423	3,512
繰延税金資産	239	155	149
再評価に係る繰延税金資産	67	71	71
その他	2,285	2,843	2,782
貸倒引当金	△ 24	△ 61	△ 24
資産合計	36,243	35,362	34,808
負債の部			
流動負債	8,158	7,913	7,480
支払手形	43	61	33
買掛金	4,619	4,406	4,271
未払金	2,017	2,010	1,889
その他	1,477	1,435	1,287
固定負債	1,102	1,021	1,042
退職給付引当金	1,016	952	965
役員退職慰労引当金	86	69	77
負債合計	9,260	8,935	8,523
資本の部			
資本金	7,065	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067	7,067
利益剰余金	13,787	13,423	13,367
土地再評価差額金	△ 100	△ 107	△ 107
その他有価証券評価差額金	675	481	518
自己株式	△ 1,512	△ 1,503	△ 1,627
資本合計	26,983	26,427	26,284
負債及び資本合計	36,243	35,362	34,808

●単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	21,642	21,270	42,396
売上原価	11,822	11,530	24,640
販売費及び一般管理費	7,900	7,641	14,906
営業利益	1,919	2,099	2,849
営業外収益	360	408	712
営業外費用	400	478	975
経常利益	1,880	2,028	2,586
特別利益	48	36	17
特別損失	611	37	64
税引前中間(当期)純利益	1,317	2,027	2,539
法人税、住民税及び事業税	775	697	956
法人税等調整額	△ 255	76	62
中間(当期)純利益	797	1,252	1,520
前期繰越利益	2,182	1,355	1,355
自己株式処分差損	27	27	63
土地再評価差額金取崩額	△ 6	0	0
中間配当額	—	—	287
中間(当期)未処分利益	2,946	2,581	2,525

POINT

中間純利益は7億97百万円(前年同期比36.3%減)となりましたが、これは今期より適用が義務付けられた固定資産の減損会計処理により5億48百万円の特別損失を計上したことによるものです。



トピックス

CI 変更

当社では、来年創業60周年を迎えるに当たり、CI (Corporate Identity) の一環として、本年10月1日より企業スローガン「空気をかえよう」を新しく掲げていくことになりました。

この新スローガンのもと、当社は固定客を増やし、お客様に愛される企業となることを目指し邁進する所存です。

この「空気をかえよう」というスローガンは、すでに昨年1月より当社年度テーマとして使用しておりましたが、当社のオリジナル性の高いメッセージとして各方面からご支持をいただいたこともあり、このたび企業スローガンに採用する運びとなりました。

1981年より約四半世紀にわたり使用してまいりました「暮らし、さわやか」から、新しく「空気をかえよう」へと変更するのに伴い、企業ロゴも変更いたしました。

新しいロゴは、左にシンボルマークの「ひよこ」、右に「エステー化学」の社名ロゴとその上に「空気をかえよう」のスローガンを配します。



こころ洗うミュージカル「赤毛のアン」全国公演を開催

8年目を迎えた当社主催のミュージカルは、今や夏休みの恒例イベントとなりました。

本年は「こころ洗うミュージカル」というテーマで、「赤毛のアン」の演目を全国8都市にて上演いたしました。

今回は歌手の華原朋美さんが主役のアンを演じ、大変華やかなステージとなりました。

8月16日(火)の仙台公演は、当日開演前に発生した宮城県沖地震のため、上演とりやめを余儀なくされましたが、楽しみにされていた方々のためにも、是非公演を行いたいという出演者やスタッフ一同の強い思いにより、9月17日(土)に公演が実現し、2005年の暑い夏が幕を閉じました。



企業見学

当社本社の周辺地域(東京都新宿区)の小・中学校や、東京へ修学旅行に来られる各地の小学校・中学校から企業見学のご依頼をいただくことがあり、その都度、生徒の皆さんへ当社R&D (Research & Development) センターを開放しております。

来社した生徒さん達は皆、当社社員の説明に真剣に聞き入り、積極的に質問をしていました。特に、楽しそうに消臭実験を体験している姿が大変印象的でした。

当社では、将来を担う子供達の成長を願い、これからも子供達が企業活動の一端に触れたり、働く人と接する機会を設け、微力ながらお役に立つことができると考えております。



はとバスツアー来社

6月24日(金)と7月4日(月)の2日間、東京観光や東京から各地への観光のバスツアーを行う「株式会社はとバス」と当社のコラボレーションによる企業ツアー「生活お役立ち講座 プロが教える梅雨の過ごし方講座」を実施いたしました。

ツアーの行程は、浜松町駅～エステー化学(生活お役立ち講座)～横浜中華街～鎌倉建長寺～鎌倉明月院のあじさい～東京駅というもので、2日間で合計44名の参加者がありました。

当社では、参加者の皆様をR&Dセンターへお招きし、「梅雨の過ごし方講座」の他、「湿気やカビの実物体験」、「消臭実験コーナー」、屋上ハーブ庭園での「ハーブティーのティータイム」などでお時間を過ごしていただきました。

当社の企業活動の中で培われたノウハウが、皆様の生活の快適に繋がることを願っております。



新製品紹介

置くタイプのアウォッシュ

～「においセンサーゼリー」で空気を洗う～

- ◎“空気を洗う”除菌・消臭ミストの「エアウォッシュ」ブランドから置くタイプの商品を発売。
- ◎新開発「においセンサーゼリー」の効果で、空気中や壁などについたニオイを消臭し、空気を洗いたてにリフレッシュします。
- ◎香りは「せっけん」、「ミントグリーン」、「やわらかフローラル」、「グレープフルーツ」、「ラベンダー」、「無香」の6種類。
- ◎ミストのアウォッシュと併せて使うと、より効果的です。



ムシューダ防虫カバー 礼服・フォーマル用

～礼服・フォーマル用の防虫カバー～

- ◎特にホコリが気になる礼服・フォーマルウェアを虫やホコリから守る防虫カバーです。
- ◎サイドファスナーから衣類を出し入れするスノ閉じタイプで、ホコリの侵入を防ぎます。
- ◎ホコリ、毛、糸くずが簡単に取れる<ベタコロ>衣類用粘着ローラーが付いています。



トイレの消臭力

～消臭効力を30%アップしてモデルチェンジ～

- ◎緑茶カテキンとハーブエキスの天然消臭成分を配合し、消臭効力を30%アップしました。
- ◎ボトルは、斜めにクリスタルカットを施したニューデザインです。
- ◎日本かおり研究所の監修のもと開発した「緑茶の香り」を、新たに追加しました。



ファミリー手袋

～皆様に愛されて45年～

「ファミリー手袋」は、1960年の誕生以来、皆様にご愛用いただいております。時代のニーズに合わせ、皆様の求めるよりよい手袋のご提供を目指しております。

「ファミリー天然ゴム中厚手カモミール」

- ◎内面の素材にハーブのカモミールを配合した、手肌にやさしい手袋です。
- ◎素材のゴムは、空気の泡をちりばめたエアイン加工が施されており、汗を吸収してムレを抑えます。

「ファミリービニール中厚手スクワラン」

- ◎内面の裏毛には、化粧品にも使われるスクワランを配合し、着脱性・保温性に優れています。
- ◎抗菌・防臭加工も施されており、カビや雑菌の繁殖を防ぎ、ニオイを抑えます。



CM紹介

●お部屋の消臭力

～カンフーアクションの“消臭への道”～

エステー化学芳香消臭剤を代表するブランド「消臭力」のCM。1人の拳士が並み居る敵を倒し、ついに女ボスの部屋に。しかし、そのあまりの部屋のニオイに拳士は倒れ、反省した女ボスが、「消臭力」をお店で買うというストーリー。昨年度に引き続き、消費者調査で大ヒットにランクされたCMで大きく売上に貢献しました。



●置くタイプのアウォッシュ

～壁を這う3つの鼻が驚くセンサーの威力～

壁を這う3つのしゃべる鼻が登場する話題の「置くタイプのアウォッシュ」のCM。実はお笑いタレント森三中の鼻とその声です。大型新商品である「置くタイプのアウォッシュ」の機能をしっかりと訴求しながらも、CMそのもののおもしろさも話題を誘っています。秋からスタートしたこのキャンペーンで新商品ながらも大きなシェアを獲得中です。



●エアウォッシュ（除菌・消臭ミスト）

～お部屋の空気を洗う 第2弾～

「空気を洗う」を訴求するミストタイプの「エアウォッシュ」のCMです。この除菌・消臭のミストは、お部屋を洗濯してくれたかのような気持ちにさせてくれます。CMは、この新しい使い心地を「エキゾチックなエアウォッシュダンス」と「洗上がった部屋が、青空の下に干される」という映像で表わしました。フランスの撮影技術を使っただけの不思議な世界が繰り広げられます。



●「エアウォッシュ」がグッドデザイン賞を受賞

このたび、除菌・消臭ミストの「エアウォッシュ」が、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2005年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

グッドデザイン賞とは、1957年に通商産業省（現 経済産業省）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」を母体とする日本で唯一の総合的デザイン評価・推奨制度です。

今回、審査委員からは、「形状が大変ユニークであり、しかも手になじむように細部まで工夫されたデザインは魅力的だ」との評価コメントをいただきました。



株式の状況

(平成17年9月30日現在)

●株式の総数

(ア) 発行する株式の総数	96,817,000株
(イ) 発行済株式の総数	30,346,851株
(ウ) 1単元の株式数	100株

●株主数

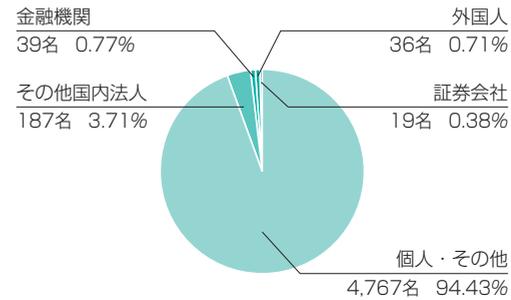
5,048名

●大株主

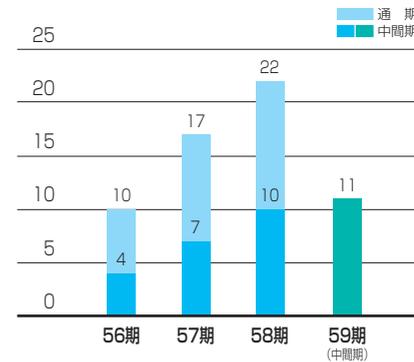
氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,747 千株	15.6 %
株式会社 T・ZONEキャピタル	3,301	10.9
ベアスターンズ アンド カンパニー	2,459	8.1
日本生命保険相互会社	1,671	5.5
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	884	2.9
鈴木 誠	882	2.9
有限会社 鈴木ファミリ	860	2.8
鈴木 喬	822	2.7
鈴木 明雄	785	2.6
株式会社 東京三菱銀行	681	2.2

(注) 1. 当社は自己株式1,558千株(5.1%)を有しております。
2. みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

●所有者別分布状況



●配当金の推移 (単位：円)



会社の概要

(平成17年9月30日現在)

- 設立 昭和23年8月31日
- 資本金 7,065,500千円
- 従業員数 478名 (出向者を除き、パートタイマー・嘱託を含む)

事業所

(平成17年9月30日現在)

- 本社 〒161-8540
東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731 (代表)
- 支店 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 営業所 金沢、高松
- 工場 福島、埼玉、九州(福岡)
- R&Dセンター 東京

役員一覧

(平成17年11月30日現在)

取締役

取締役会議長 (指名委員)	鈴木 喬
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員)	梶原 保
取締役(社外) (指名委員・監査委員)	多賀谷 恒八
取締役(社外) (指名委員・報酬委員)	野呂 正則
取締役(社外) (監査委員)	高後 元彦
取締役 (指名委員)	長沢 壽治
取締役 (報酬委員)	土橋 光男

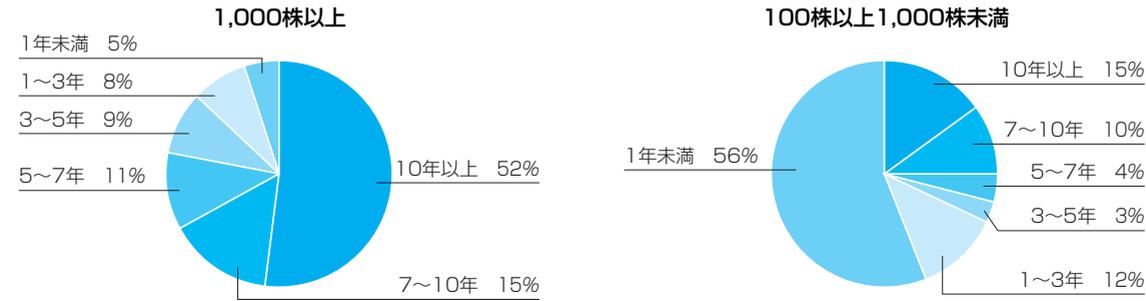
執行役

代表執行役社長	鈴木 喬
専務執行役 経営全般担当	峰 信碩
常務執行役 R&D部門担当・人事担当	長沢 壽治
常務執行役 コーポレートスタッフ部門担当・関連会社担当	土橋 光男
常務執行役 営業本部長	影浦 憲章
執行役 製造部門担当・国際ビジネス担当・営業副本部長	小林 寛三
執行役 東京支店長	石川 通愷
執行役 大阪支店長	城ノ戸 真一
執行役 経営企画グループ担当	嶋田 洋秀

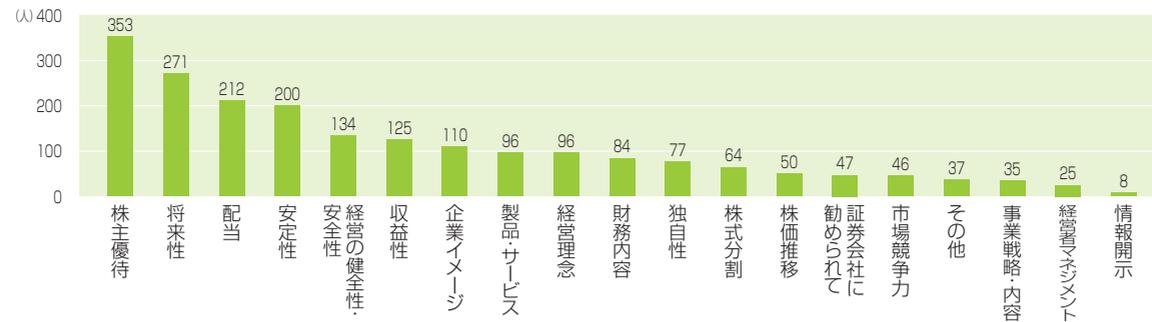
株主アンケート 集計結果

第58期事業報告書でお願いいたしましたアンケートには、656名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
下記の通り、アンケートの結果をご報告させていただきます。(構成比は小数点以下第1位を四捨五入)
なお、昨年10月より単元株を100株といたしました。

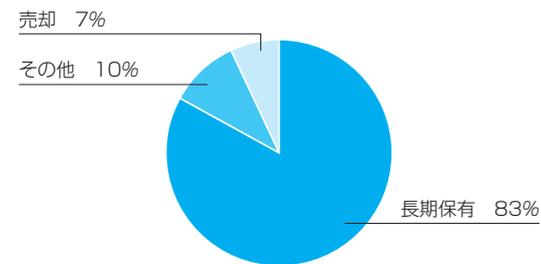
●当社株主歴別構成



●当社株式を購入された理由（複数回答）



●当社の株式に対する方針



ご協力ありがとうございました。
今後これらの結果を参考にさせていただき、株主の皆様のご期待にお応えできるよう一層努力してまいります。

株主優待品

2006年3月期中間時の株主優待品は、割当基準月である9月30日時点で当社株式を1,000株以上保有している株主様へ、3,000円相当の弊社製品詰め合わせをご送付させていただきます。なお、お届けは12月中旬を予定しております。

100株以上 1,000円相当弊社製品詰め合わせ 年1回（割当基準月3月）
1,000株以上 3,000円相当弊社製品詰め合わせ 年2回（割当基準月3月・9月）



1,000株以上株主様向け

株主メモ

決算日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
配当金及び中間配当金 配当金は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当金を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いたします。
名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〔郵便物送付先〕 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
〔お問合せ先〕 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324（フリーダイヤル）
同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数 100株
公告掲載新聞 日本経済新聞
決算公告ホームページのご案内
当社の決算公告は、日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ（<http://www.st-c.co.jp/ir/kk.html>）に掲載しておりますので、こちらでご覧いただけます。

当社IR情報について

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様へ、当社の経営内容、将来展望、経営理念等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。
ご希望の方にはIRメールの配信サービスも行ってまいります。